

# 平成 30 年度 事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

## 目 次

### I 法人の概要

- 1 法人の名称
- 2 法人の所在地
- 3 認可年月日
- 4 沿革及び学園の組織
  - (1) 学園の沿革
  - (2) 学園の組織
  - (3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名
  - (4) 設置する学校・園の名称及び所在地
  - (5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生・生徒・園児数の状況
  - (6) 設置する学校・園・学科等教員・保育士数の状況

### II 事業の概要

※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

### III 財務の概要

※別紙資料の通り

学校法人 三浦学園

## I 法人の概要

### 1 法人の名称

学校法人 三浦学園

### 2 法人の所在地

東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号

### 3 認可年月日

昭和 19 年 3 月 31 日

### 4 沿革及び学園の組織

(1) 学園の沿革 (別紙参照)

(2) 学園の組織 (別紙参照)

(3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名

### ①理事・監事

〈平成 31 年 3 月 31 日現在〉

役職	選任事項	氏名	現職
理事長	第 2 号理事	三浦 洋義	学園長
常務理事	第 2 号理事	根岸 順一	法人本部事務局長
理事	第 1 号理事	氏森 英亞	有明教育芸術短期大学学長
理事	第 3 号理事	志賀 平治	
理事	第 3 号理事	井上 嘉明	井上税務会計事務所長
理事	第 3 号理事	富永 光太郎	(株)リヴィジョン代表取締役社長
監事		朝倉 和行	(株)朝倉代表取締役
監事		村 滋	(有)ムラ・アソシエイツ代表取締役

### ②評議員

役職	選任事項	氏名	現職
評議員	第 1 号評議員	三浦 洋義	学園長
評議員	第 1 号評議員	根岸 順一	法人本部事務局長
評議員	第 1 号評議員	中西 菊乃	有明教育芸術短期大学事務局次長
評議員	第 1 号評議員	菊本 和仁	日本音楽高等学校校長
評議員	第 1 号評議員	金子 慶子	日本音楽学校保育園長
評議員	第 1 号評議員	小菅 雅之	法人事務局経理課長
評議員	第 1 号評議員	渋谷 国	法人事務局広報課長
評議員	第 2 号評議員	水本 真澄	日本音楽学校幼稚園長
評議員	第 2 号評議員	新井 清	(有)希望商事代表取締役
評議員	第 2 号評議員	平井 キミ子	日本音楽高等学校同窓会監査

評議員	第3号評議員	森戸由久	創価女子短期大学名誉教授
評議員	第3号評議員	三浦裕明	フジテレビ社員
評議員	第3号評議員	根本美香	根本美香バレエスクール主宰

(4) 設置する学校・園の名称及び所在地

名称	所在地
有明教育芸術短期大学 子ども教育学科	〒135-0063 東京都江東区有明二丁目9番2号
日本音楽高等学校 普通科（幼児教育コース） 音楽科（幼児教育コース） （音楽コース） （バレエコース） （舞台芸術コース）	〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目16番12号
日本音楽学校幼稚園	〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目16番12号
日本音楽学校保育園	〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目16番12号

(5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生・生徒・園児数の状況

（平成30年5月1日現在）

	入学 定員	収容 定員	学生生徒園児 現員数	平成30年度 入学者数
有明教育芸術短期大学	100名	300名	180名	48名
子ども教育学科	100	300	180	48
日本音楽高等学校	100	300	197	66
普通科（幼児教育コース）	0	300	10	0
音楽科（幼児教育コース）			17	11
（音楽コース）			50	16
（バレエコース）			63	22
（舞台芸術コース）			57	17
日本音楽学校幼稚園	35	150	101	35
日本音楽学校保育園	9	26	31	9

(6) 設置する学校・園教員・保育士数の状況 (平成 30 年 5 月 1 日現在)

①短大教員

設置校名	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	兼務者
有明教育芸術短期大学	7	3	5	0	0	15	21

\* 学長は教授に算入

②高校教員・幼稚園教員・保育園保育士

設置校名	専任教諭・保育士	兼務者
日本音楽高等学校	17	48
日本音楽学校幼稚園	6	0
日本音楽学校保育園	14	0

II 事業の概要

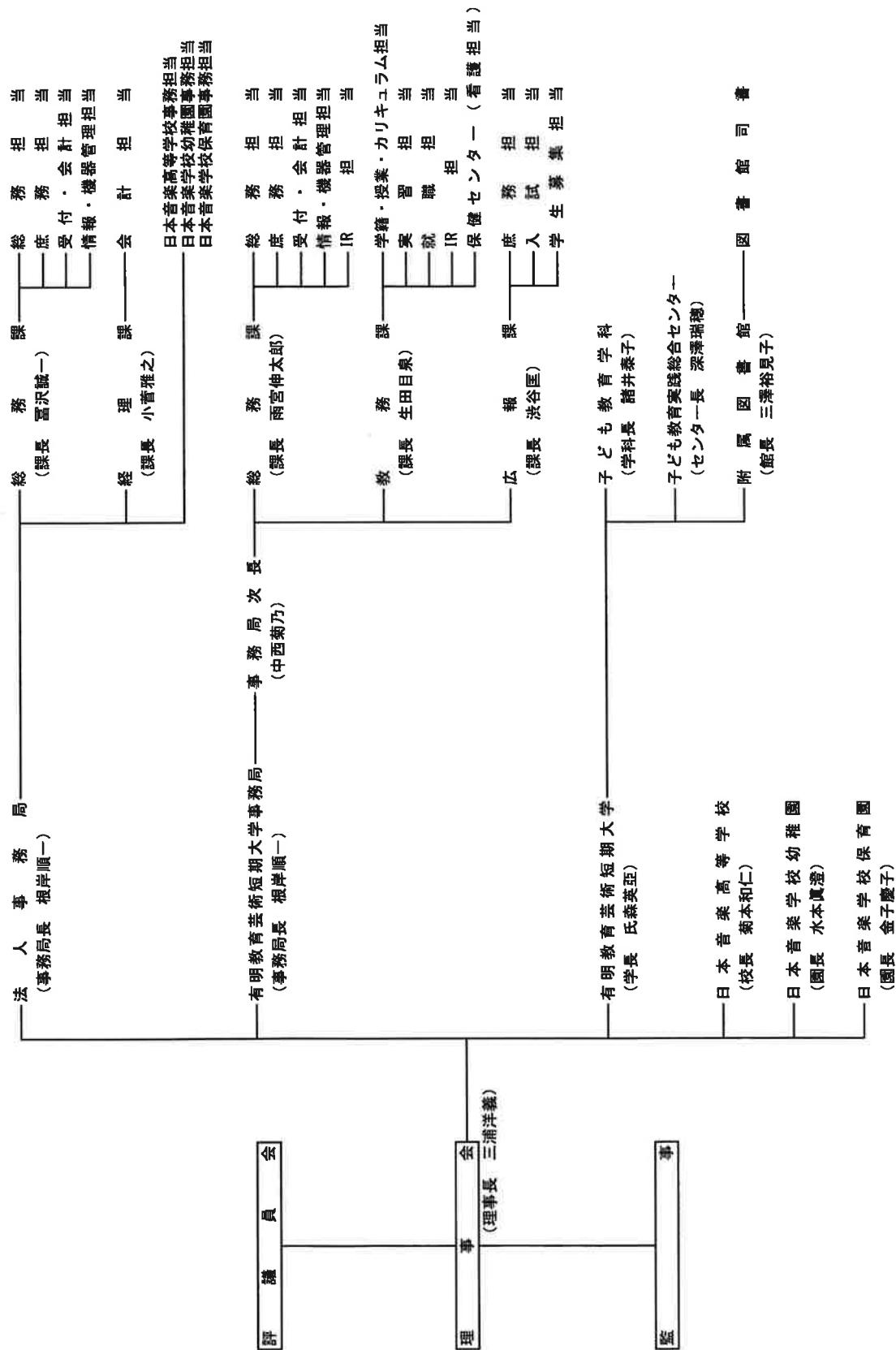
※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

III 財務の概要 別紙資料の通り

法 人 沿 革	明治36年 明治39年 大正13年 昭和2年 昭和19年 昭和22年 昭和24年 昭和25年 昭和28年 昭和29年 昭和36年 昭和47年 昭和53年 昭和63年 平成4年 平成5年 平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成14年 平成15年 平成20年 平成21年 平成22年 平成23年 平成26年 平成27年 平成28年 平成29年 平成30年	<p>山田源一郎により我が国初の私立音楽学校「音楽遊戯協会」として神田淡路町に創立          女子音楽学校(女子)・日本音楽協会(男子)に名称変更          校舎を中野打越に移転</p> <p>日本音楽学校に名称変更。創立者・初代校長 山田源一郎死去          学校法人三浦学園成立(3月31日)</p> <p>校舎を品川区豊町に移転</p> <p>日本音楽学校附属幼稚園および日本音楽学校附属入新井幼稚園を設置</p> <p>日本音楽学校附属豊小学校、日本音楽学校附属豊中学校、日本音楽高等学校を設置</p> <p>日本音楽学校に我が国初の教員養成機関(中学校音楽教諭養成科)を設置し、文部大臣の指定認可を受ける</p> <p>日本音楽学校に文部大臣指定の幼稚園教諭養成科を設置</p> <p>日本音楽学校附属入新井幼稚園を廃止</p> <p>日本音楽学校に厚生大臣指定の保母養成科を設置</p> <p>日本音楽学校が専修学校に認可</p> <p>日本音楽学校創立85周年事業の一環として2号館校舎(教室、中ホール)竣工 日本音楽高等学校 音楽科「バレエコース」設置</p> <p>日本音楽学校創立90周年事業の一環として三浦記念館(大ホール、幼稚園舎、視聴覚教室、特別教室)竣工</p> <p>三浦洋義理事長及び学園長に就任</p> <p>日本音楽学校附属豊小学校及び日本音楽学校附属豊中学校を廃止</p> <p>日本音楽学校にレクリエーション・インストラクター資格者と児童厚生指導員の養成課程設置</p> <p>厚生大臣指定東京聖星社会福祉専門学校(介護福祉学科)設置</p> <p>日本音楽学校保育園設置</p> <p>日本音楽高等学校 普通科「幼児教育コース」設置</p> <p>日本音楽学校創立100周年</p> <p>有明教育芸術短期大学 認可(10月31日)</p> <p>有明教育芸術短期大学子ども教育学科及び芸術教養学科の二学科で開学</p> <p>日本音楽学校を廃止 日本音楽学校附属幼稚園を日本音楽学校幼稚園に園名変更</p> <p>日本音楽高等学校 音楽科「舞台芸術コース」設置 東京聖星社会福祉専門学校を廃止</p> <p>有明教育芸術短期大学芸術教養学科学生募集停止</p> <p>日本音楽高等学校 普通科募集停止</p> <p>日本音楽高等学校 幼児教育コースを音楽科として募集</p> <p>有明教育芸術短期大学創立10周年</p>
------------------	--	---

I - 4 - (2) 学園の組織

(平成31年3月31日)



## 平成 30 年度 有明教育芸術短期大学 事業報告

本学が開学して 10 年目を迎えるに当たり、「有明教育芸術短期大学子ども教育学科創立 10 周年記念誌」を刊行した。第 1 章 有明教育芸術短期大学の沿革、第 2 章 子ども教育学科 10 年間のあゆみ、第 3 章 記念誌に寄せて、の構成で 10 年間の様々な取組が掲載された。

### 1. 教育課程

大学暦に基づき問題なく授業を遂行した。人権に関する相談も発生しなかった。

- 1) 新カリキュラム編成：現行カリキュラムを改正した新カリキュラムを文部科学省に申請し、教職課程の再課程認定を得ることができた。この申請では、本学の特徴を現行のカリキュラムより鮮明にすることを心掛けた。尚、指定保育士養成課程に関する再認定については、東京都福祉保健局より 3 月 22 日付けで承認された。
- 2) 教育課程の整備：「平成 30 年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ 1）」が掲げる調査票に基づき、本学の教学マネジメントを整備して私立大学事業団に申請し、採択された。
- 3) その他、下記の事項を実施した。
  - ① 教員連絡会：3 月 22 日実施。参加者は 23 名（専任教員 13 名、非常勤講師 10 名であった。「建学の精神」、「教育方針」、「教育目的」に関するガイダンス、及び「30 年度授業運営の振り返り」、「アクティブラーニングと最新情報機器を活用した授業の在り方」等に関する情報提供と協議のあと、分科会に分かれ、意見交換を行った。
- 4) その他
  - ① 学生ハンドブックの配布：平成 30 年度の学生ハンドブックを作成し、学生及び教職員に配布した。
  - ② 個別指導：履修カルテを基に担任による年 2 回の個別面談と履修指導を行った。
  - ③ 入学前教育：31 年度入学予定者に入学前教育（必修課題—読書感想文一、選択課題—ピアノ実技講座の受講又は保育関連施設調査レポート一）を実施した。
  - ④ リカレント教育：ホームカミングディを実施した。5・6 期卒業生を中心に 12 名が参加した。参加者から、「講座が役に立った」、「就職したからこそ良く理解できた」等の感想が寄せられた。

### 2. 附属図書館

- 1) 開館時間及び入館者数：開館時間は 9:00～18:00（休業期：10:00～15:00）、年間入館者は 5,283 名で前年度より 2,425 名減少した（収容者減による影響が考えられる）。
- 2) 藏書：図書 20,949 冊（前年度比 新規購入 +368 冊、未登録 +1,764 冊）、視聴覚資料 1,020 点（前年度比 +22 点、未登録 +223 点）、遂次刊行物（雑誌・新聞）33 タイトルであった。
- 3) 貸出：図書の年間貸出は 647 冊（前年度比 +169 冊）、1 日平均 3.3 冊（前年度比 +0.7 冊）であった。
- 4) 情報教育の推進：1 年生対象に図書館ガイダンス、3 年生対象に資料検索に関する支援を実施した。有明教育芸術短期大学学内ワークスタディ（WS）により、滞っていた図書の登録を迅速化することが出来た（12,283 冊登録済）。

学生のニーズにあった図書を揃える、未登録図書整備の継続、書架狭隘化に備えた廃棄計画と推進、改善された図書館利用マナーの維持・促進等がこれから課題である。

### 3. 教員人事（異動）

1) 採用者：専任教員 1 名、非常勤 3 名

専 任 若林 彰（学長、教授）

非常勤 山崎美穂（担当科目「情報機器」他）

川合沙弥香（担当科目「ドラマ」）

益川順子（担当科目「家庭支援」）

2) 退職者：専任教員 2 名、非常勤 2 名

専 任 氏森英亞（学長 特任教授）

山崎美穂 講師（担当科目「情報機器」他）

非常勤 山本直樹（担当科目「ドラマ」）

岡本仁美（担当科目「家庭支援」）

3) 異 動：再雇用嘱託 1 名（教授）、昇任 1 名（講師→准教授）

有福一昭 教授（再雇用嘱託 教授）

岩本圭子 講師（准教授昇任）

上記により、令和元年度は教授 7 名 准教授 4 名 講師 3 名 計 14 名となる。

### 4. 教員の管理

教員の学外活動について適正な管理を行った。

(1) 他大学等への非常勤講師 5 件

(2) 教員の学外活動 27 件について適正な管理を行った。

### 5. 自己点検・評価

1) 情報公開：29 年度の教育課程に関する自己点検・評価をホームページで公開した。

2) 第三者（学外有識者）による点検・評価：29 年度における本学の 3 つのポリシー（カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー、ディプロマポリシー）及び地域連携・貢献に関する諸活動について点検・評価 を受けて承認を得た。

3) 30 年度自己・点検評価報告書作成に向けた準備：自己点検・評価項目の整備を終了した。

4) 大学等改革総合支援事業（タイプ 1）調査票に基づき、本学における教学マネジメントの現状を点検した（65/84 点）。その結果、大学等改革総合支援事業（タイプ 1）として選定された。

### 6. 研究活動の奨励

1) 教育研究助成費の交付：助成 2 年目になる 2 研究を助成した。

① 研究課題 「インクルーシブ教育の理念に基づく幼小連携に関する研究」 助成額 20 万円

② 研究課題 「幼稚園、保育所、認定こども園における与薬対応について～主に江東区内の園(所)を対象に～」 助成額 15 万円

2) 紀要への投稿：有明教育芸術短期大学紀要第 10 卷に原著論文・他の合計 11 編を掲載した。教育課程再認定を控えていた 9 卷には及ばなかったが、第 8 卷以前より増えた。また、子ども教育総合センター紀要第 2 卷を刊行した。

## 7. 募集対策

- 1) オープンキャンパス (OC) : 29年度同様、15回実施した。参加者延べ人数 295名 (29年度比+104) 入学対象の参加者は 155名 (29年度比+42名)、また高校2年生の参加が 96名であった。
- 2) アンケートの結果: OC 参加の理由として「ホームページを見て」、「興味があった・知りたかった」、「友人の紹介 (付添含)」等を挙げる者が多かった。OC 内容について参加者の 96%が「満足」しており、進路選択に当たって重視している事項は、「保育士資格取得」、「幼稚園教諭免許取得」、「大学の雰囲気・校風」、「学生生活」であった。
- 3) 出前授業: 東京都立桐ヶ丘高校、東京文理学院高等部、東京都立八潮高校
- 4) 校内見学: 東京都立板橋高校、日本音楽学校、北海道俱知安高校
- 5) 日本音楽高校特別講座: 幼児教育コース1~3年生 20名の参加があり、本学の概要説明や模擬授業 ('音楽表現'、'造形表現') 他を見学・体験してもらった。  
オープンキャンパス (OC) 参加者及び入学者が前年度より増えたが、「学生パフォーマンスが楽しそうでなかった」 ('パフォーマンスで楽しそうでない学生がいた' の意味に解釈) や「サークルの活動を説明して欲しい」 等の感想があったため、次年度 OC の改善事項とした。

## 8. 退学者

退学者は 14名 (29年度比-1名) で、学習意欲低下ないし進路変更を理由にする者が多かった。教務委員会・教務課による履修指導、保証人への通知の他、新たに学内ワークスタディ (WS) 及び『原級留置者の学生納付金に関する規程』による納付金の補助を始めたところである。それらによる支援を継続し、収容者に対する退学者の割合を 3%台に抑えることが出来るかを 33年度末 (経営改善計画最終年度) 時点で改めて検証する。

## 9. 学生生活支援

- 1) 学内研修: 入生研修を学外宿泊から学内実施に改め、多くの上級生や教職員と交流できるようにした。
- 2) 縦割りクラスによる授業: 「学習と表現の技法」を縦割りクラスによる学生中心の授業を徹底した。
- 3) 有明祭運営補助の増額: イベント経費を含めて 230,000円の予算措置を行った。
- 4) 環境整備: 教職員による環境整備 (例: 卓球ができる環境作り) を行った。
- 5) WS の導入: 学生が授業外時間を有効に活用できてキャリア形成にも繋げることが出来る WS を導入した (学内公募)。

29年度、サークル数 5 (28年度比-1)、加入学生 45名 (28年度比-20名) で、ともに減少した。サークルが同一学年のみで構成される傾向 (例: 3年生で構成されるサークルは卒業により消失) があつたため改めて下記の支援を行い、サークル数 10 (前年度比+5 サークル)、加入者数 73名 (前年度比+31名) になり、いずれも前年度より増加した。

## 10. キャリア形成・就職支援

- 1) ガイダンス: 必修ガイダンスを 6回と任意参加のガイダンスを 33回実施した。
- 2) 公務員試験対策講座 (東京アカデミー): 公務員試験対策ガイダンス (全学年、1回)、模擬試験 (幼保、1回)、面接対策講座 (小、2回)、基礎学力アップ講座 (1・2年生、10回)、志望先別対策講座

- (幼保、20回)を実施した。
- 3) 教員採用試験面接指導：東京都教員採用試験受験者2名に教員による面接練習・指導を行った。
- 4) キャリアガイドブックの配布：全学年3年生のみに配布していたキャリアガイドブックを全学年に配布した。

キャリア支援講座実施の日程を金曜日4限に変更したことにより、出席率は29年度より上がったものの、なお低かった(1回平均出席率38.1%、前年度比+14.3%)。公立試験対策講座出席者率も8.4%で前年度より低く(前年度比-10%)、公立小学校への就職者も2名に止まった(前年度比-5名)。

キャリア形成・就職支援の成果は3年制の強みを検証する事項であり、かつ受験生の関心が高い事項であるため、令和元年度から同講座内容を『ライフキャリア演習』(旧カリ『学習と表現の技法』)に組み込み(単位化)、かつ職員(非常勤)の新規採用により公務員試験対策講座を補強することとした。

## 11. 地域との連携・貢献

- 恒例となっている地域との連携・貢献事業を継続した。
- 1) 江東区との連携事業
- ① 江東区立の小学校、幼稚園、保育園への学生ボランティア派遣  
小学校1名(中途辞退)、幼稚園1名、保育園1名
- ② 江東区長期計画策定大学連携事業  
政策テーマ「子育て・教育」 参加学生10名 担当教員2名
- 2) 講習会・講座・研究会
- ① 教員免許状更新講習  
開設講座数 必修領域1講座 選択必修領域3講座 選択領域9講座  
受講者 延べ442名
- ② 平成30年度保育の職場体験事業事前オリエンテーション(事務局 東京都保育人材・保育所支援センター)  
参加者6名  
内容 保育士の仕事の概要(橋講師)、職場体験概要(杵鞭教授・他)、  
養成校での学びについて(広報課・他)、キャンパスツアー(本学学生)
- ③ 公開講座 8月10日実施  
テーマ 「特別支援保育・教育における支援のあり方」  
講師 羽田紘一氏(元本学教授)、岡本仁美氏(浦和大学准教授)  
参加者 35名(保育士2名、幼稚園教諭2名、特別支援学校教諭1名、他大学生1名  
本学教員11名、本学学生18名)
- ④ 子育て講座  
1回目 7月19日実施  
テーマ 「パパとママが笑顔になる子育て講座」  
講師 岩本講師 参加者9名
- 2回目 11月15日実施  
テーマ 「子どもの発達を支援する遊びと生活～身体からのアプローチ」  
講師 菊地准教授 参加者24名

⑤ 実践教育研究会（旧幼児教育研究会） 7月 11日実施

テーマ 「発達障害、障害児保育への対応の仕方」

参加機関 江東区内の保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校

参加者 28名（本学教員及び学生を含む）。

3) 子育て支援：親子サロン・FRAN 及び子ども発達相談を実施した。親子サロン・FRANは1年後期開設の「プレ実習」事前指導の場として活用している。

① 親子サロン・FRAN

33回実施 参加者 乳幼児延べ122名、保護者延べ120名

③ 子ども発達相談

相談件数 2ケース

4) 近隣に住む子ども対象の催し

① 水の日イベント 8月 1日実施 参加者 144名

② 親子で楽しむ夏祭り 8月 23日実施 参加者 58名

③ 授業成果発表会

30年8月 4日 科目名「音楽Ⅰ」、「音楽Ⅱ」、「総合表現」、

参加者 一般19名、在校生全員参加

31年1月 31日 科目名「音楽Ⅰ」、「音楽Ⅱ」、「保育内容（身体表現）」

参加者 幼児約40名

（以上）

令和元年5月28日

## 平成30年度 日本音楽高等学校 学校経営指針に基づく事業報告

校長 菊本和仁

I 建学の精神や教育目標に基づく、目指す生徒像と学校像の目標を達成するために、以下の通り実施した。

### II 平成30年度の取組み

#### 1 生徒募集への全教職員による積極的な取組み

(1) 平成31年度(令和元年度)入学者数 3/31(金)現在	※()内は、昨年度の数
応募103名(96名)・受験101名(93名)・合格100名(90名)・入学72名(65名)	
<コース別入学者数内訳>	A・・・単願 B・・・併願
音 楽 A 14(15)	B 0(0) 一般 6(1) 合計 20(16)
バ レ エ A 20(15)	B 0(1) 一般 1(6) 合計 21(22)
舞 台 芸 術 A 18(10)	B 0(0) 一般 5(6) 合計 23(16)
幼 児 教 育 A 8(8)	B 0(0) 一般 0(3) 合計 8(11)
合 計 A 60(48)	B 0(1) 一般 11(16) 合計 72(65)

※三浦学園奨学金(平成30年度入学生19名(OG特待重複1名))

(内訳 成績特待:3名・実技特待:1名・OG特待:1名・近隣4区特待:15名・校長枠特待:0名)

#### ※H30年度入試の傾向

- ・募集対策の方策により、受験生が100名を越えた。また、単願(A推薦)25%増の生徒を入学させることができた。しかし、都立高や県立高の倍率が低いため、B推薦での入学は見込めなかった。また、一般入試も都内生や近隣県の入学生徒は見込めず、私立中や都外遠距離県の生徒の入学となっている。

#### ※今後の対応

- ・今年度は、日音の学校行事(日音祭・サウンド・オブ・ミュージック)や体験入学・学校説明会に昨年度以上の中学生に来校してもらえるよう、チラシ配布・HPでのコマーシャル・中学校訪問(バレエ教室・音楽教室等)をさらに充実させる。

※今年度よりすべての学年が音楽科:幼児教育コースとなる。

#### (2) 中学生の学内行事への参加のべ数

	音 楽	バ レ エ	舞 芸	幼 教	未 定	合 計
日 音 祭	14(11)	31(21)	20(26)	7(5)	0(15)	72(68)
体験入学 6回	131(123)	179(203)	132(104)	40(44)	2(0)	484(474)
学校説明会 4回	117(43)	87(73)	71(56)	32(32)	2(3)	309(204)
音楽講習会	13(16)	32(25)	38(26)	6(8)	23(15)	112(120)
	22(27)					

#### ※中学生の学内行事への参加傾向

- ・平成30年度は、平成29年度に引き続き、体験入学を6回にしたことや募集対策をはじめとする教員などのPRの効果が現れてきたこともあり、平成29年度に比べて学内行事や体験入学・学校説明会への中学生の参加が増加した。平成31年度(令和)も校外の進路説明会を含め、次年度目標とする入学者数85名を、5年計画で定員100名の入学者の実現に向けて具体的方策により尽力する。

## 2 豊かな人間性の育成

### (1) 基本的な生活習慣の確立

- 全教室へ額に入れ、建学の精神と教育目標を掲示して、愛校心とともに意識向上を図っている。また、生活目標「あ：あいさつ、じ：時間、み：身だしなみ、こ：言葉遣い、し：姿勢」を教員に指導を徹底するとともに生徒会の取組の一つとしても様々な場面で行えるようになっている。特に「時間」に関しては、平成31年度（令和元年度）の重点目標とした。
- (2) 日々の環境整備・校内に観葉植物、新聞・絵画・書等の掲示をし、音楽を専門とする女子校としての環境を整えた。また、生徒会活動として毎朝の清掃活動・あいさつ運動や地域のボランティア活動を実施している。
- (3) 年2回「心と体のアンケート」の実施
- 定点観測して比較予定・養護教諭の分析及び担任への周知し、生徒の生活改善・生徒指導に活かしている。また、三者面談で保護者への啓発にも活用している。次年度以降も継続していく。
- (4) 一昨年度の学生会館を整備により、昼休みと放課後を開放することで生徒が休息・学習・ミーティング等で更なる活用ができてきている。自販機の設置も生徒や保護者に好評である。

## 3 確かな学力の向上

「知性と芸術の融合」のもと、専攻実技や専攻実習の技能と表現を高める指導とともに基礎的な学力の定着・学習意欲の向上・希望の進路を実現する学力の向上を図る。（※各コースの専攻実技や専門の授業も『学力』として捉えることを周知）

### (1) 朝読書・朝学習、夏期休業中の講習及び各種検定の実施状況

#### ・定期考查前2週間の朝学習（実施時間7:40～8:10）

国語：月・木 数学：金 英語：水・木 音楽：火（授業者1回300円）

（参考）国語：須賀17回・奥山21回、数学：伊庭10回・大河原11回

英語：菅沼23回・兒玉23回、音楽：松田5回・小川7回・暮林8回

#### ・夏期休業日の講習の実施（授業者1コマ：1,000円（講師を除く））

第1期 7月後半 4日間

第2期 7月後半 4日間

第3期 8月後半 4日間

国語：須賀90分×4コマ・奥山90分×4コマ

社会：塚本90分×4コマ、数学：伊庭90分×4コマ・大河原90分×4コマ

英語：菅沼90分×4コマ・兒玉90分×4コマ

鈴木講師90分×4コマ（出講票にて対応）

#### ・生徒の能力に合わせた各種検定の実施（英語検定・漢字検定）

### (2) 日々の専攻レッスンや実習に向けて、練習や準備が進むように年2回のアンケート調査を実施し、一般教科の学習とともに改善を図らせた。平成30年度は、2年目となる「フォーサイト手帳」を使用して、一週間のレッスンや実習までの準備や自宅学習の時間の確保等を自己管理できるように進路主任や担任から指導し、活用した。アンケートによる業者の分析から大きな効果と改善がみられる。来年度以降も継続して使用する予定である。

### (3) 各コースの特別レッスン・特別講座を国内外の講師を招聘して実施した。講師代はコース別企画書の予算等で対応している。

#### <音楽コース>

声楽コンサート 萩原みか氏（東京音楽大学講師）

合唱指導 古橋富士雄氏・片野秀俊氏・田中達也氏

ピアノコンサート ミラン・デヴェターク氏（スロベニア）

ピアノコンサート 浜川潮氏

管弦打楽器クリニック 本学講師（Ob・Tb・Pf）

ピアノ	黒川浩氏（フェリス女学院大学教授）
第6回OGコンサート	武藏野音大・東京音大・洗足学園・昭和音大・東邦音大・14名出演
音楽雑誌「月刊ピアノ」	本校の紹介ページ掲載（2年連続）
<バレエコース>	
コンテンポラリー	平山素子氏
タップダンス	本校講師（FIMIKO）
ワークショップ	磯真琴氏（本校卒業生）ロンドンで活躍中
合同オープンレッスン	堀内充氏・榎本真弓氏（P伴奏）
ジャイロキネシス	鈴木真由氏（本校卒業生）
キャラクターダンス	マイレン・トレウバレフ (新国立劇場バレエ団プリンシバルダンサー)
舞台照明	山本英明氏
衣装製作	室谷浩子氏
<舞台芸術コース>	
エンターティナー	廣瀬愛氏（サンリオピューロランド）
リズムダンス	上田亜希子氏（琴羽桜子：元宝塚歌劇団・本校卒業生）
日本舞踊	花柳花風香氏
<幼児教育コース>	
リトミック	山田麻美子氏（有明教育芸術短期大学）
パネルシアター	柏木麻衣子氏・鹿島裕美氏
タケちゃんのおもちゃ箱	竹部正人氏（遊びクリエイター）
ゆたか児童センター交流企画（年6回）	
<2年女子>	
保健「妊娠」等	江田郁子氏（武藏野日赤病院助産婦）

#### 4 豊かな個性と創造力の伸長

(1) 平成30年度の進路実績（音楽・バレエ・舞台芸術・幼児教育）

H31.3.31 現在

■四年制大学（19名）■

跡見学園女子大学 文学部 コミュニケーション文化学科	1名
上野学園大学 音楽学部 音楽学科 器楽コース ピアノ専門	1名
桜美林大学 芸術文化学群 演劇ダンス専修	1名
学習院女子大学 国際文化交流学部 国際コミュニケーション学科	1名
国立音楽大学 音楽文化教育学科 幼児音楽教育専攻	1名
十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 社会福祉・保育コース	1名
尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科 音響・映像・照明コース	1名
昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科 声楽コース	1名
洗足学園音楽大学 弦楽器コース（コントラバス）	1名
洗足学園音楽大学 ミュージカルコース	2名
玉川大学 芸術学部 パフォーミング・アーツ学科	1名
多摩美術大学 美術学部 演劇舞踊デザイン学科 演劇舞踊コース	1名
桐蔭横浜大学 スポーツ健康政策学部	1名
日本女子体育大学 体育学部運動科学科 舞踊学専攻	1名
武藏野音楽大学 音楽学部 音楽総合学科 音楽教育コース（ピアノ専攻）	1名
武藏野音楽大学 音楽学部 演奏学科 器楽コース（ヴァイオリン専攻）	1名
武藏野音楽大学 音楽学部 演奏学科 器楽コース（クラリネット専攻）	1名
武藏野音楽大学 音楽学部 演奏学科 器楽コース（トランペット専攻）	1名

■短期大学（12名）■

有明教育芸術短期大学 子ども教育学科	3名
上野学園大学短期大学部 音楽科 器楽コース打楽器専門	1名
上野学園大学短期大学部 音楽科 ピアノ専門	1名
湘北短期大学 総合ビジネス・情報学科	1名

昭和音楽大学短期大学部 音楽科 バレエコース	1名
東京成徳短期大学 幼児教育科	1名
桐朋学園芸術短期大学 音楽専攻（ピアノ専修）	1名
桐朋学園芸術短期大学 演劇専攻	3名
■専門学校（12名）■	
カコトリミングスクール 動物看護科	1名
国立音楽院 ピアノ調律科	1名
尚美ミュージックカレッジ専門学校 ミュージックビジネス学科	1名
尚美ミュージックカレッジ専門学校 ヴォーカル学科	1名
東京こども専門学校 保育科 保育士・幼稚園教諭コース	3名
東京保育医療秘書専門学校 保育科 保育士・幼稚園教諭コース	1名
日本外国語専門学校 国際エアライン科 キャビンアテンダント専攻	1名
日本デザイン福祉専門学校 保育こどもデザイン学科	1名
山野美容専門学校	1名
代々木アニメーション学院 エンタメ学部 声優タレント科	1名
■入団・留学・その他（4名）■	
NBAバレエ団（スタジオカンパニー）	1名
東京バレエ団（研修生）	1名
ワタナベエンターテイメントカレッジ（アクターズPRO）	1名
The American musical and Dramatic Academy	1名
ペラルーシ国立舞踊学校（ペラルーシ共和国）	1名

（2）自己実現を図る系統的で組織的で個に応じた進路指導

- ・各学年とも年間計画に基づきそれぞれの企画が実施された。学年全体での企画として、面接への対応についての指導、進路ガイダンスと進路体験報告会を実施した。
  - 進路ガイダンス 6月23日（土）3年生対象
  - 進路体験報告会 7月14日（土）全生徒対象
  - 進路ガイダンス 12月15日（土）1, 2年生対象
  - 進路体験報告会 3月 4日（月）1, 2年生対象

※本校進路推薦内規（改訂版）の周知

（3）平成30年度各コースのコンクール・コンテスト・部活動の入選・入賞等

<音楽コース>

- ・第28回日本クラシック音楽コンクール【予選通過者：本選出場（10月）】  
ヴァイオリン（3年）・声楽（3年）・ピアノ（3年）・クラリネット（3年）  
トランペット（3年）・コントラバス（3年）・声楽（2年）・声楽（2年）
- ・第35回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール【本選】  
声楽（3年）・声楽（2年）
- ・第35回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール【全国大会】  
声楽（3年）
- ・第20回洗足学園ジュニア音楽コンクール【本選入選】  
声楽（2年）
- ・第42回ピティナ・ピアノコンペティション【ソロ部門F級本選】  
ピアノ（2年） 東北日本山形本選・東日本F級本選
- ・第19回高校生のための歌曲コンクール：昭和音楽大学ユリホール  
声楽（2年） 4名
- ・第10回東京国際声楽コンクール【高校1・2年生部門準本選】  
声楽（2年）
- ・第36回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール【本選出場】  
フルート（2年）・フルート（1年）
- ・第8回日本バッハコンクール 全国大会高校生B部門【本選奨励賞】  
ピアノ（2年）

・「第6回音楽コースOGコンサート」

OG：武藏野音大(VI(弦)・Pf・Sop)・東京音大(Fl・Sop)・昭和音大(Sop(弦))

洗足学園音大(Sop(弦)・Sop・Pf・ミュージカル)・上野学園大(Pf・Fl・Tp) 計17名

演奏：ソロ&アンサンブル（※賛助出演：本校講師 Sop.塙京子）

・「しながわ 夢さん橋 2018」・・・管弦打アンサンブル

・品川区オリンピック・パラリンピック2年前フェスタ・・・金打アンサンブル

・フルートフェスタinしながわ OG：上野学園大2年・東京音大2年・1・2年フルート

・「音楽コースコンサート2018」 11/18(日)

講師 Pf：井上照喜 Ob：井上恵子 Tb：轟木敬 本校合唱部

・「ふれあい交流会」 品川区立三木小学校体育館

・「平成30年度第65回生徒定期演奏会」 会場：国立音楽大学大講堂

<バレエコース>

・第3回NBA東京ジュニアバレエコンクール 第5位の3（3年）

・第6回Japan Dance Competition 第1位 S-10（3年）

・第11回松戸全国洋舞コンクール 第1位 審査員特別賞（1年）

・第16回バレエ・コンクールIN横浜 第4位（3年）

・Youth America Grand Prix 2018 ファイナリスト（3年）

・Japan Ballet Competition 北海道2018

第4位（2年）・第2位 芸術賞木村規予審査員特別賞（2年）

・第22回NBA全国バレエコンクール 入選激励賞（1年）

・オールジャパン バレエ ユニオン第19回コンクール（1年）

・「バレエコンサート 2018」

<舞台芸術コース>

・「舞台芸術コースコンサート 2018」

<幼稚教育コース>

・ゆたか児童センター「高校生と赤ちゃんとのふれあい事業」

・「地域保育園との交流企画」 主催：品川区役所保育課 ※品川ケーブルテレビで放映

・「日本音楽学校幼稚園の遠足引率補助」

<合唱部>

・NHK全国学校音楽コンクール<東京都高等学校の部:予選B>金賞（7年連続金賞受賞）

<東京都高等学校の部:本選>優良賞

・第73回東京都合唱コンクール 銅賞

・「春のコーラスコンテスト(春こん)2018」銀賞

<ダンス部>

・第65回東京都高等学校ダンス発表会

・第71回全国中学校高等学校ダンスコンクール：奨励賞

<演劇部>

・校内発表会 2回

## 5 学校運営体制の強化

### (1) 入学選抜の適正な実施

入学選抜に係わる試験問題の検討と作成及び願書の受付から合格発表、入学手続までの入学選抜に係わる進行管理は適正に行われた。

### (2) 転退学等

全校生徒に充実した学校生活を送らせる高い満足度をもてるよう指導をしているが、今年度、様々な理由でやむを得ず途中転学または退学した生徒の数は、以下の通りである。個々にその原因は違うが、教員のカウンセリング能力を高めるとともに保護者の理解を含め丁寧な対応と指導で減らしていく。

<理由の一例>

・生活指導上課題があり、怠学傾向で進級卒業できない。

- ・座学の学力はあるが、専攻実技がついていけない。都立高や私立高に転学。
- ・在学中、コンテストやコンクールに入選し、留学するために通信高校に転学。
- ・遠距離のため保護者と離れて暮らすことで精神的に不安定になる。
- ・中学生から不登校傾向にあり、集団生活に適合できない。

<途中転学や退学者数>

1年 幼：1名	音：1名	バ：1名	舞：3名	計 6名
2年 幼：0名	音：2名	バ：2名	舞：4名	計 8名
3年 幼：0名	音：1名	バ：0名	舞：1名	計 2名
合計 幼：1名	音：4名	バ：3名	舞：8名	計 16名

※転・編入

舞台芸術コース：目黒星美学園より2年へ1名転入

舞台芸術コース：音楽コースへ3年転コース

※休学

音楽コース：2年ニュージーランドへ留学のため

バレエコース：3年海外留学試験を受験するため

## 6 開かれた学校づくり

### (1) 教育情報の積極的な発信

- ・家庭用PCだけでなく、携帯やスマホからの見られるようになり、保護者・生徒だけが見られる連絡欄や学校だよりをはじめとする新着情報を週に一度は更新している。女子中学生が興味・関心をもってもらえそうな本校の行事の情報や入試に関する情報もアップしている。
- ・中学生の募集に関して、新年度の学校案内の完全リニューアルするにあたり募集対策委員会が中心となって進めた。今年度は、部分的にさらに改訂し、5月23日完成し、中学校に配布した。
- ・校長の学校だより、各学年・各コースのたより、ホームページ等、生徒の様子や活躍の状況を多くの保護者・地域・中学生に知ってもらえるようにビジュアルも含めさらに改善した。

### (2) 併設の幼稚園・保育園・有明教育芸術短期大学との連携

- ・幼児教育コースの生徒による週に1度の併設の幼稚園・保育園の実習や行事の手伝い等を含め、連携をより一層深めていく。
- ・有明教育芸術短期大学の教授による幼児教育コース（リトミック）の特別授業を行っている。昨年度は短大での授業体験＆見学会など実施し、高校から3名の入学生を送ることができた。

### (3) 地域との連携

- ・荏原第五地区の清掃ボランティア活動に参加している。
- ・大井町駅前で開催したオリンピックパラリンピックの関連した品川区の行事や大崎駅前の「しながわ 夢さん橋 2016」イベントに音楽コースのアンサンブルが参加した。また、「三木小ふれあい交流会」に音楽コースの管弦楽アンサンブル女声合唱で参加した。
- ・幼児教育コースは「ゆたか児童センター交流企画」＝赤ちゃんとのふれあい講座＝に年6回の計画的に参加した。次年度も参加予定がある。また、荏原第五地区的「品川区民まつり 2018」に受付や幼児のゲーム等の手伝いを行った。
- ・生徒会役員は、年2回荏原第五地区清掃活動に参加した。次年度は、奉仕活動委員会を立ち上げ、協力者を募っていく。また、生徒会役員・荏原警察署員・下神明駅員の協力のもと「痴漢撲滅キャンペーン」に参加した。（警察署より表彰）
- ・華道部4名と顧問で、「2018 品川区民作品展」に生け花で参加した。
- ・日音祭やサウンドオブミュージック上演に関して、日頃からお世話になっている区役所管理職や小・中学校生徒や近隣住民を招待した。

### (4) 学校運営連絡協議会の実施 6月28日（木）

(外部委員)	保護者代表	佐藤千恵子（父母と教師の会会長）
	同窓会代表	塙京子（同窓会会长の代理として出席）
	地域関係機関代表	蜂屋隆子（品川区立戸越台中学校長）
	地域社会代表	綱嶋信一（品川区商店連合会副会長）
(内部委員)	校長	菊本和仁
	教頭	松本幸浩
	副教頭	渡邊裕子
	事務局長	根岸順一

- ・学校側から、本校の概要、教育活動の計画、魅力ある本校の教育内容、募集状況などについて説明した。募集を含めて本校への支援、協力を要請した。
- ・その後の情報交換の中で、地域の中に積極的に出てくる様になり日音の知名度も上がり、評判も良く成ってきていたとのご意見を頂いた。今後も地域に出てきて更に日音、日音生の良さを伝えるために場所や機会の提供を続けるとの意見も頂いた。
- ・本校の公開行事への地域の方の参加も増えてきており、更に定着させ、中学生の入学の増加に繋げる方法の一つとして、平成30年度も開催する予定である。

## 7 教員の資質向上

### (1) 管理職の授業見学

- ・専任および教科講師や実技講師の授業（レッスン）の年間計画（シラバス）に基づいて授業見学を行い、管理職（校長・教頭）が、定期的に授業見学してアドバイスすることにより、生徒にとって「わかる・できる授業（レッスン）」を目指す。

### (2) 校内研修会

- ・教員の指導力向上のために、毎回の教員会30分間で校長を講師として教育課題に関する研修会を実施している。また、私立中高協会からの予算を使って、昨年度に引き続きに、高知大学の鹿嶋真弓准教授を講師として招聘し、研修課題「学級担任によるカウンセリング」について全教員で研修を行った。次年度も実施する予定である。保健関係では、食物アレルギーをもつ生徒へのエピペンの使用やAEDの使用について全教員対象に研修を行った。

### (3) 生徒による授業評価

- ・年二回（7月と12月）生徒による授業評価を行い、各教科の教員や講師の反省材料とともにP D C Aサイクルで授業改善を行っている。

### (4) 授業力向上のための研究授業（学期ごと年3回）と校内授業研修会

- ・6月、12月、2月の研究授業を管理職と教員で参観した。生徒による授業評価に基づき、習熟度別に差のある生徒への対応を課題として教員全体での研修会を行うなど、一人ひとりの教員の授業力の向上に努め、生徒の授業への興味・関心の喚起と理解度の向上を図った。また、今年度も9月と1月の2回、生徒による授業評価に基づく教員研修会を行った。
- ・赤点を取った生徒への効果的な指導法について、朝学習、放課後講習の実体のある活用を含め、具体的な方策を指導法を含め引き続き検討する。
- ・授業への興味・関心を高め、習熟度に差のある生徒に対しての学習意欲を喚起するため教材研究や授業方法の工夫などが一人ひとりの教員によって進められている。今後は、その実践報告を含め、研究授業の実施等も検討したい。

### (5) 自己申告書による面接及び業績評価・教員の動向

- ・校長と教頭が4月・10月・2月に自己申告書による面接を実施し、自己の課題を明確にし、学校経営への参画意識をもって教育活動を行う。このことにより業績評価、教員の指導育成に生かす。
- ・10月より黒田教諭（舞台芸術コース担任）の産休・育休代替教員として多田教諭を3月31日まで採用した。4月1日付で坂下教諭を採用する。

#### (6) 教員の高齢化・ミドルリーダーの育成

- ・50代の教員が増加し、主任格のミドルリーダーの育成が急務である。本校は、音楽・幼児教育・バレエ・舞台芸術4コースの生徒に対して特色ある教育を行っている普通科のように教員をあてがえばすぐに担任ができるものではない。コースごとにミドルリーダーとなる教員の育成や定年退職に伴う1年間の引き継ぎができるような教員の採用が必要である。

### 8 学校施設管理と学校事務の充実

#### (1) 予算の執行

- ・事務所との連携を図り、無理・無駄・ムラのない予算の執行を行う。
- ・学園や事務との相談のもと、老朽化に伴う施設・設備（校舎・校庭・ホール）の長期的・短期的な修繕を目指す。

##### （※保護者からの指摘や要望）

今年度、3号館と5号館（学級棟）の外壁塗装工事で教室の雨漏りがなくなった。しかし、三浦学園ホールの天井ライト切れ・幕の不具合・オーディオ装置などの老朽化、また校庭の老朽化等々、危険箇所を含め計画的な修繕が必要である。

#### (2) 通知表

- ・今年度まで、手書きによる通知表の所見を行ってきた。今年度は通知表もデジタル化してファイルに納めて保護者に渡せるスタイルに変更した。複数人による確認して作成することにより、転記ミスをなくす。

#### (3) 情報の管理

- ・パソコン内の個人情報は、持ち出さないこと、学校内で作業を行うこと。また、個人情報の入った○秘書類は、裏紙活用に回らないようにシュレッダーにかけるなど確実に励行する。
- ・教科や学年やコースが作成する起案文書（案）は、必ず教頭に提出し、校長の承認を受けることを徹底した。

#### (4) 授業料の未納者

- ・事務所担当との連携を図り、期日までの確実な納金を目指す。未払い者に関しては段階を追って連絡を取り、計画書を作成させ理事長の確認を取るようにする。

# 平成30年度 事業報告

## 日本音楽学校幼稚園

### 《平成30年度の教育環境についての変化》

#### 「外部状況」

- 1 平成30年4月より、幼稚園、保育園、認定こども園の「教育要領、指針、教育、保育要領」が改訂され、「ねらい、内容」が共通化されたが、当園は、「五領域」に準じて、教育のねらいである「自立」への教育を今まで学年に応じて取り組んできたため大きな変化はない。
- 2 品川区では「保育園」が15園増設され、当園に近い下神明駅に近くの「そらのいろ保育園」では、73名の定員にもかかわらず、半分の人数しか集まらず、0歳児～5歳児が縦割り保育の上、この一年間で保育者も10人も辞めたとの情報がある。このことは、保育の質に問題が生じているのではないかと推察されます。当園としては教育の質を保っていくことが今後共、大切であると考えている。
- 3 預かり保育への補助金に対する規定が年々厳しくなっており、開設日、時間、長期休業期間の日数の増加等、保育園に近い状況が求められてきた。そのため、補助金の関係もあり都の要望に出来る範囲で努力してきたが、長時間の預かり保育は子どものためには良いとは思えないため、現状を保って行く。

#### 「内部状況」

- 1 預かり保育の利用者も母親の就労により、年々、月決めで利用する園児も多くなってきた。また、園児の園活動の範囲内での時間で仕事をもつ母親も増加しているため、「預かり保育」実施期間は出来るだけ多く設定することで利用者も増加傾向にある。
- 2 教員間の意志の疎通は、「ほうれんそう」の原則を今後も更に強化し、内部研修に励んでいく。
- 3 2歳児教室と年中児へ体育専門の指導者が月1回、導入されたことにより保護者からは好評であり、平成31年度3歳児入園児は男児の増加がみられた。
- 4 年長組の多動児に平成30年9月より、補助員が1名ついたことで、保護者と園との協力関係が進んだ。

## 1 平成30年度、子どもの育ちへの年間教育重点目標

幼稚園教育要領は、平成30年度より改定され、今年度の年間教育目標は下記の通りとする。

年間教育目標：「言葉」の領域より《経験した事や考えた事などを自分なりの言葉で表し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。》

当園は「絵本」に力を入れ、月刊「ものがたり絵本」と「かがくの絵本」の2冊を全園児の保護者に購入して頂いている。また、毎日の保育の中で絵本を1回は必ず担任が読み、週1回は絵本の貸出をしている等の環境のせいか、どの子も絵本に興味を持つようになってきている。これらのことから、聞く力は育ってきた。今後は自分の気持ちを言葉で表現できる様に更に働きかけて行くこととしている。

## 2 教員の資質向上への取り組みについて

当園の教育方針に沿って共通理解が出来る様になるためには、「報告、連絡、相談」や内部、外部研修を今後も更に強化していく必要がある。

## 3 特別強化授業について

年長・年中の体育に、専門の先生が入ったことで保護者から評判がよくなつた。また、預かり保育の中で「英語でリトミック、英語でゲーム」などを預かり保育の課題の中で英語の堪能な先生の指導により実施することで、園児、保護者共に、楽しみにするようになった。

## 4 園と保護者とのつながり

- ・懇談会、個人面談、家庭教育学級などに出席している保護者は、園活動に理解が深いが、預かり保育の定期的利用の保護者には、報告を必要とする場合は担任が残って説明をするなど丁寧な対応を心掛け、園理解につなげていくようにしている。
- ・保護者の会の活動については、役員はまとまりも良く園活動に協力的で、3月の行事食も手作りで「チキンライス」を数年振りに復活し園児、保護者共に好評であった。

## 5 預かり保育の強化について

補助金の関係から、都から保育園に近い開設日数の増が求められてきたが、当園は平常時は11時間保育、早朝保育も長期期間の夏、冬、春の保育も実施し、開園日の9割以上の条件もクリヤーしているので補助金も増加している。

また、日々の活動内容も五領域を加味しながら園児達が喜んで参加できる様に工夫できため利用数も増加している。

## 6 幼稚園と小学校との連携について

平成30年度は、宮前小学校との給食体験は実現したが、行事日程が互いに合わず他校とは実施できなかった。

三木小学校との「ふれあい交流」では鼓笛の演奏を披露した。

## 7 地域との関係

- ・園庭開放・・今年度も未就学児を対象として親子で参加 学期毎に1～2回、水曜日  
午前11時45分～12時30分まで、無料にて 園庭にて固定遊具や  
ボールを使って自由に遊び、絵本の読み聞かせを行う。
- ・子育て相談・・園庭開放の日や2歳児教室の日に行う。

## 8 平成31年度への入園募集への取り組みについて

- ・2歳児教室説明会 平成31年3月24日（土）午前9時30分 保育室にて
- ・子育て支援2才児教室：当園入園希望児を月2回、保育料を徴収し実施予定  
35名募集 月2回 親子で保育体験 1回に17名、18名のクラス編成  
登録料 ¥3,000  
参加費 1回 ¥1,500 前期（5、6、7月） 後期（9、10月）  
時 間 1回 60分  
対象児 在園児、卒園児関係 17名 外部より18名募集予定  
月2回の内、1回は合同で大ホールにて、体育指導が入ったため好評で、平成31年度の3歳入園児は、男児の増となった。

以上の様に、園児募集等については実質的な小さな取り組みが評価されたことと考えている。

# 平成30年度 事業報告

日本音楽学校保育園

## 《年間事業》

### 基本方針

- ・日本音楽学校保育園は保育園の基本方針・保育目標・保育方針を基本に保育課程に沿って年間指導計画・月週日案を細かく立案し、一人一人の園児の発達に合わせながら日々の保育を細かく丁寧に実践してきた。又、日本音楽学校が目指す建学の精神である、あいうえお（愛情・意欲・うつくしい言葉・笑顔・思いやり）を大切にして保育内容の充実に努めてきた。

### 保育実践

- ・園目標実現のため、新指針を元に保育計画に沿った内容を細かく確認しながら、一人一人の発達や興味・関心等に沿った指導案（年・月・週・個）立案し、丁寧な保育を進める事ができた。
- ・保護者に保育内容を伝えるため、保育指導案（月案）を掲示、週の活動内容もボードにて伝え、常に様子が見える保育を進めてきた。これによって親子での会話が増えている。
- ・年間を通して全クラスが音楽に触れ、季節の歌・わらべうた・手遊び・リトミック（表現遊び）を取り入れ、鈴・カスタネット・太鼓・マラカス・タンバリン・キーボードの楽器を身近に置き、いつでも触れながら音楽が楽しめるようにした。保護者会や運動会・音楽会で披露するように、保護者にも、楽しんでいる様子を伝えてきた。
- ・絵本・紙芝居・パネルシアター・人形劇等、年齢にあった内容を年間等して取り入れ楽しめるようにした。職員の手作り作品や外部のサークルの方もお呼びし、身近に親しみが感じられるようにした。
- ・近隣の公園にもたくさん足を運んで遊ぶことが出来た。砂場の遊具やシャボン玉・宝物入れのバックも手作りの物を持参し、子ども達の興味ある探索遊びも盛んにして、活動の幅を広げてきた。四季折々の自然に触れたり、公園の特徴を活かして山に登ったり、池の生き物も身近に観察ができ、より親しみが持てた。
- ・体育的な遊びもいろいろ取り入れることができ、四肢を使った運動遊び（登る・渡る・くぐる・ぶら下がる・飛ぶ・こぐ・蹴る等）ができた。
- ・室内ではコーナー遊びを充実させるため、発達や興味にあった遊具を揃え、遊具の数も増やし、一人一人が満足して遊べるよう工夫してきた。木のおもちゃも少しずつ増やし、暖かみのある空間・考えながら遊ぶ時間等大切にしてきた。保育時間が長いので一日の中で静と動の遊びを用意し、その時間だけ使えるお楽しみの遊具を用意し、楽しみながら迎えを待てるよう配慮してきた。
- ・日本古来の四季の行事に沿った製作遊びや、外部元保育士による楽しい製作も月に一度だが毎回楽しく遊べる題材で喜んでいる。手・足型やフィンガーペイント、絵の具、マジック等様々な教材等工夫して楽しんでいる。持ち帰る親子の姿がとても微笑ましい。
- ・年間通しての行事は今年も各担当が様々に計画し、皆で参加できる内容や、保護者と共に楽しめるように工夫してきた。参加人数がとても多く、皆で盛り上がって「我が子の成長がうかがわれた」「楽しかった」との感想が今年度も多く寄せられ、職員の励みに繋がっている。
- ・2才児は夏野菜を栽培し、収穫の喜びを体験したり、クッキングにも関心を示したり、自分で作った物

が口に入るととても喜んだ。調理職員の協力的で毎回理解を示してもらっている。なかなか家庭では経験できないので今後も年齢に見合った取り組みを進め、食育に繋げて行きたい。

## 地域交流

- ・全ての行事に地域の方をお誘いし、入園前の見学時にも声をかけている。掲示板にも予定を示し気軽に足を運んでもらえて子育ての楽しい時間になれるように意識している。子育て相談も何かあれば伺うようにしている。ハロウィンでは商店街の方との交流も続いている、昨年度からの近隣の通所施設（デイケア）との交流もお互いに優しい触れ合いの時間の中で、いい経験をさせてもらった。  
今後の交流も声をかけてもらっているので是非計画をしたい。
- ・子育て支援として、見学者や散歩先で案内を配布し、子育て相談を呼びかけてきた。（見学者は年間80名程だが、子育て相談は少ない）
- ・近隣保育園交流は、品川区立二葉・ゆたか保育園2園と進める事ができた。園庭でのどろんこ・夏祭り・焼き芋・広いホールでの製作遊び等々、当園ではお祭り・ベンちゃんとあそぼう会・人形劇・絵本の読み聞かせ等に参加してもらった。他にはすぐ側の保育園にも声をかけて、絵本の読み聞かせにさそって交流をした。
- ・日本音楽高等学校幼児教育コースの実習生と年間交流をした。

## 職務分担・職員勤務形態

- ・各係はねらいに沿って細かく立案し、職員会議で全体に図り意見を求め、年齢にあった取り組みができるように準備してきた。（行事の装飾等）
- ・折に触れ保護者からの声や連絡帳・園だよりで出す行事等の感想から、日常の保育の取り組みについていろいろ意見頂き評価してもらい、より良い保育内容に繋がるよう進めてきた。  
玄関のホットフォトも行事や日常の様子を出来るだけタイムリーに伝えるようにしている。  
＊写真販売の声もあるがシステムがなかなか難しい。卒園児には入園からのアルバムを作つて渡すなど、保育園での成長記録や思い出が残るような工夫をしている。
- ・今年度も18時～19時30分までの保育時間の長い園児が多く、土曜日も4～6名程だったので、職員の勤務態勢を工夫して保育に望んできた。標準時間（8時間以上）勤務の方の利用がますます増えているので、職員体制も十分整えないと成り立たない現状がある。特に年齢が小さいので、夕方の疲れもあり、一人一人を十分受け入れる職員体制をしっかりと確保する必要がある。
- ・新人職員の育成に時間をかけ指導を重ねてきた。各リーダーの打ち合わせを設け、特に子どもの見方・発達のとらえ方・記録のまとめ・保育準備・保育計画立案・安全保育に時間をかけている。

## 園内研修

- ・保育指針改定に伴って、研修受講者を中心に参考書による読み合わせや、保育の見直しを全職員で実施。次年度も引き続き学んでいく。リズム遊び研修後、職員に還元し日常の保育やお楽しみ会・運動会・音楽会に取り入れて実践してきた。今後も参加し、教材や保育内容を豊かにしていきたい。
- ・品川区や私立保育園主催の研修にも参加し、保育内容や、保育情勢等学ぶ機会が多くあり、それを職員会議で発表し皆で学ぶことができてとても有意義だった。

## 園外研修・・・保育体制を整え、各分野の研修に全員参加して、保育内容に活かした。

\*別紙一覧表参照

その他・・・防犯カメラ設置。日常の安全がさらに守られて安心に繋がっている。

## 年間保育内容（園児状況）・行事状況

### 一期（4・5・6月）

○園児受け入れ人数・・4月1日現在、0才11名・1才11名・2才11名 計31名。欠員無し。  
アレルギー対応・・・保護者の希望でマーガリン不使用（1名）、他無し。  
0才児は歩行ができる子1名の他は月齢が低く、赤ちゃん玩具や哺乳瓶を例年より多めに用意した。  
・4月各クラス・全体保護者会、5～6月に保育参加実施。＊0才是食事場面を保育参観にした。  
・4月の健康診断（眼・耳・鼻・歯）を10時から実施、高校生の協力でスムースに進んだ。  
・各クラス「月案指導計画・週案」を保護者向けに掲示。・「べんちゃんと遊ぼう」4月スタート。  
・夏野菜の栽培（2才児がベランダで野菜を育て、食事に出してもらう）。・「はじめましての会」「こどもの日」「ファミリーデイ」と年齢なりの製作をして進められた。・2歳児6月からクッキング（クッキー作り）始まる。食育計画に沿って年間通して楽しむ予定。・交流保育・品川区立二葉・ゆたか保育園と打ち合わせをし、年間計画を立て6月から交流開始。・年間を通して日本音楽高等学校幼児教育コースの実習生を受け入れて子どもとの触れ合い実施。 ○第一回拡大委員会開催（6月12日）

### 二期（7・8・9月） 7月1才児1名退園 ⇒ 1名入園 計31名

・プール開きを7月2日に実施後、天候に恵まれて1・2才児は毎日水遊びをたっぷり楽しむ事ができた。しかし、猛暑が続き、熱中症対策が取られ、プール・水遊びを中止にした日もあった。  
体調を崩す子もなく、暑い夏を皆元気に過ごせ良かった。  
・「プール開き」「七夕の会」「プール閉め」「お月見会」「敬老の会」…20名参加。  
「とどらあまつり」はあいにくの雨で室内にて行う。近隣の保育園も招待していたが来られず、その代わり保護者の参加が多く、親子でゆったりと買い物を楽しんで頂けて盛況だった。

### 三期（10・11・12月）

・2才児お月見の団子作り実施。  
・「運動会」晴天に恵まれ、高校の校庭にて実施。テーマを『音楽』とし、150名ほどの参加。  
・「ハロウィン」で近隣の商店の方や、昨年に続き近隣のデイケアセンターとの交流ができ、子ども達が歌や踊りを見せて大変喜んで頂いた。今後も無理のない程度でお年寄りとの触れ合いを計画したい。・個人面談実施。＊サツマイモの収穫は小さめ10本収穫。・ボランティアで「絵本の読み聞かせ」と、みちくさサークルによる「お楽しみ会」では、人形劇・わらべ歌等楽しむ。近隣保育園、二葉・ゆたかと、初めて誘ったそらの色保育園も20名の参加。・「小さな音楽会」では、高校生の歌・音楽サークルの方によるフルート演奏・歌やクラスの出し物・職員のハンドベルで音楽に触れた。  
・「お楽しみ会食」今年もバイキングでとても喜んで食べた。○第2回拡大委員会開催（12月12日）。

### 四期（1・2・3月）

・「新年おめでとう会」「豆まき」と「保護者会」では保育の様子を写真入りにし成長を伝えた。  
・「ひな祭り」会食会。「お別れ遠足」しながわ水族館。「お弁当遠足」中央公園。  
「絵本の読み聞かせ」2回目。・クッキングで2才はピザ・2月に1・2才でクッキー作り。  
○平成31年度新入児健康診断及び面接12名。（0才2名欠員）健康診断面接に問題なしで入園決定。  
＊オリエンテーションは昨年のように三月の最終土曜日開催。○第3回拡大委員会開催（3月14日）  
・「とどらあさようならの会」小ホールにて実施。卒・転園児13名・・保育園13名。幼稚園無し。  
・今年度もインフルエンザ等の伝染病もなく、全園児健康に一年が過ごせた。

# 平成 30 年度 研修実施一覧

日本音楽学校保育園 No.2

月 日	研修名・研修内容・講師	時間・場所	対象者	受講料
10月 15・16・17日	<東京都指定 キャリアアップ研修> 食育・アレルギー対応研修会	9:00~17:00 大崎ブライトホール	與崎	20000円
10月 23日 (火)	楽しく保育に活かそう！① 手遊びうた	18:30~20:00 ぶりすぐーる西五反田	小島 小山	子育て品川 2回で1000円
10月 26日 (金)	保育課職場企画研修 保育における養護の大切さ	14:00~17:00 品川区役所	木田 小山	品川区主催 無料
10月 30日 (火)	保育課職場企画研修 保育者を支える同僚性	14:00~17:00 品川区役所	安藤	品川区主催 無料
11月 1日 (木)	保育課職場企画研修 保育園で行う行事の意味を考える	14:00~17:00 品川区役所	永井	品川区主催 無料
11月 1日 (木)	楽しく保育に活かそう！② 手遊びうた	18:30~20:00 ぶりすぐーる西五反田	小島 小山	子育て品川 —
11月 2日 (金)	保育課職場企画研修 職員の資質向上および保育の 質の向上につながる園内研究とは	14:00~17:00 品川区役所	與崎	品川区主催 無料
11月 5日 (月)	第1回 保育所保育指針解説研修	14:00~17:00 品川区役所	藤巻 芝崎	品川区主催 無料
11月 13日 (火)	第2回 保育所保育指針解説研修	14:00~17:00 品川区役所	渋谷	品川区主催 無料
11月 14日 (水)	品川区 公園課 戸越公園の遊具について	14:00~15:30 戸越公園 東屋	田中	品川区主催 無料
11月 16日 (金)	保育課職場企画研修 私立保育所におけるインフルエンザ等感染症への対応	14:00~15:00 品川区役所	金子	品川区主催 無料
11月 26日 (月)	保育課職場企画研修 保育所における子育て支援	14:00~17:00 品川区役所	木田	品川区主催 無料
11月 27日 (火)	平成30年度 保育施設事故防止のための講習会	14:00~17:00 品川区役所	永井	品川区主催 無料
12月 14日 (金)	保育課職場企画研修 全体的な計画に全保育者がかかわるためには	14:00~17:00 品川区役所	田中	品川区主催 無料
12月 19日 (水)	保育課職場企画研修 保育に生かす芸術・デザイン・美の世界	14:00~17:00 品川区役所	木田	品川区主催 無料
12月 20日 (木)	うま味とだしの魅力 ～減塩をはじめ様々な健康価値の研究から～	14:30~16:30 品川区役所	安藤	品川区主催 無料
2月 1日 (金)	アレルギー講演会 こどもの食物アレルギー・ぜん息 緊急時対応	14:00~16:00 品川区役所	田中 渋谷	品川区主催 無料
2月 14日 (木)	保育課職場企画研修 食育研修～食べる機能を高めるには	14:00~17:00 荏原文化センター	芝崎	品川区主催 無料
2月 18日 (月)	給食施設管理講習会 特定給食施設における栄養管理の基礎知識	14:00~16:30 品川区役所	田中 藤田(調理)	品川区主催 無料

## 平成 30 年度 研修実施一覧

日本音楽学校保育園

No. 1

月 日	研修名・研修内容・講師	時間・場所	対象者	受講料
5月 18日 (金)	第一回 特別支援保育 「発達障害の正しい知識と支援方法」 ～アセスメント表の記入について学ぶ～	14:00~17:00 品川区役所	芝崎	品川区主催 無料
5月 24日 (木)	特別支援推進事業 全4回 ① 気になる子の理解と支援について学ぶ	15:00~17:00 品川区役所	小山	品川区主催 無料
5月 29日 (火)	保育専門研修 子どもに寄り添った保育（気になる子どもへの接し方）	14:00~17:00 品川区役所	渋谷	品川区主催 無料
6月 1日 (金)	特別支援推進事業 全4回 ② 脳機能の視点による要因と対応の方向性について学ぶ	15:00~17:00 品川区役所	小山	品川区主催 無料
6月 22日 (金)	保育施設指導検査講習会	14:00~17:00 品川区役所	金子 田中	品川区主催 無料
6月 26日 (火)	事故予防研修（講習会）	14:00~17:15 品川区役所	田中 小山	品川区主催 無料
6月 28日 (木)	給食担当者衛生講習会	15:30~17:15 品川区役所	安藤 (藤田)	品川区主催 無料
7月 2日 (月)	リスクマネジメント研修	14:00~17:00 品川区役所	藤巻	品川区主催 無料
8月 23日 (木)	サムディクラブ 夏の講習会 福田 翔・ロケットくれよん ケロポンズ・中川ひろたか	10:00~16:00 きゅりあん	小島 永井	学研 7200円
8月 24日 (金)	サムディクラブ 夏の講習会 福田 翔・ミツル&りょうた 鈴木 翼・新沢としひこ	10:00~16:00 きゅりあん	小山 近藤	学研 7200円
9月 7日 (金)	特別支援推進事業 全4回 ③ 集団の中で子どもが求める具体的対応 発達特性をふまえた臨機応変な対応	15:00~17:00 品川区役所	小山	品川区主催 無料
9月 13日 (木)	子育て支援研修（講演会） 保護者のおかれている 現状と保育園を利用している保護者に対する子育て支援	14:00~17:00 品川区役所	安藤	品川区主催 無料
9月 18日 (火)	講演「発達障害のある子どもの理解と支援」	15:00~17:00 五反田文化センター	藤巻	品川区主催 無料
9月 18日 (火)	救急法実施計画 AEDと心肺蘇生について	14:30~15:30 2号館家政実習室	職員 10名	三浦学園 無料
9月 21日 (金)	救急法実施計画 AEDと心肺蘇生について	14:30~15:30 2号館家政実習室	田中・近藤 藤巻	三浦学園 無料
10月 3日 (水)	平成30年度社会福祉事業者人権研修	13:20~16:20 なかのZERO	近藤	東京都社会福祉 保健局 無料
10月 4日 (木)	保育力アップ研修 「今求められる0,1,2歳児の保育」	14:00~17:00 品川区役所	小島	品川区主催 無料

